

# 進路便り

令和5年9月29日

進路指導部 No. 5

都立港特別支援学校長 岡戸 良雄

進路指導主任 原 正佳

進路便り担当 太田 朱音

秋色の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。2学期も引き続き企業及び福祉施設と相談しながら、進路行事を進めております。今号では、夏季休業中に実施いたしました関係機関訪問や、卒業生の状況、普通科1年進路学習会等についてお知らせいたします。



## ■職能開発科 相談機関訪問

職能開発科では、毎年2年生の夏休みに、在住している区の生活支援機関と障害者就労支援機関を保護者同伴で訪問しております。今年度も8つの区を訪問しました。区では障害福祉サービスについて、障害者就労支援センターでは卒業後の仕事へのサポートについて、説明と相談を受けていただきました。参加した生徒は、卒業後の生活をイメージする意味でも、有意義な時間にする事ができたようです。また、保護者の方からは障害福祉サービスに対する具体的な質問も有り、地域の担当職員との貴重な意見交換の場となりました。来年度末、就労先が決まりましたら、就労支援機関へ「登録」に伺うことになっております。就労を決めて「登録」まで至れるよう、頑張ってください。

## ■卒業生 定着支援の状況

### 普通科

2年目の卒業生は4月から後輩が入社し、張り切って仕事をしている様子が見られました。3年目の卒業生は学校と就労支援センターと一緒に職場へ訪問するケースもありました。職場での悩みや課題などを聞き取り、解決策を確認して定着支援を行っています。



### 職能開発科

夏季休業中を中心に、就学1年目から3年目の卒業生の定着支援を行っています。3年目を迎えた卒業生はすっかり社会人の顔となり、職場の方からの信頼も厚くなっていました。また、今後の相談窓口として、在住区の障害者就労支援センターの担当の方と引継ぎを行いました。就学2年目、1年目の卒業生は、新しい環境に早く慣れようと努力をしています。仕事のやり方を覚え、自立して業務を行うことが目標です。挨拶・報告・質問を大切に、感謝の気持ちをもって働いている方ほど、力を発揮できていると感じました。

## ■普通科1年進路学習会の報告

9月20日(水)に普通科1年生保護者向け進路学習会を行いました。

当日は、生活介護（港区立障害保健福祉センター工房アミ）、就労継続支援B型（大田区立大田福祉作業所）、就労移行支援・就労定着支援（ヤマト自立センタースワン工舎羽）、障害者就労支援センター（大田区立障がい者総合サポートセンター）それぞれの事業所の方々から、各事業所の概要や求められる力について、現場のリアルな御話を聞くことができ、理解を深めることができた学習会となりました。

また、後半の分科会では事業所毎に4つに分かれ、素朴な疑問や不安を皆で共有し、意見交換を行いました。

